

## 「360度地震体験動画」活用の手引き

「360度地震体験動画」は、日常の身近な場所で地震が発生したときの状況を再現しています。「地震が発生したらどんな状況になるか」「どういう危険があるのか」を具体的にイメージし、「どのような行動を取ればいいのか」などを考える防災学習教材として、活用してください。

### 地震がきたらどうする？ 動画を見て避難行動を学ぼう！

災害はいつ起こるかわかりません。

もし地震が来ても落ち着いて行動できるように、日ごろから避難行動について学んでおきましょう。

地震体験動画を見て、みなさんがいつも生活している場所で地震が来た時のことを想像し、どのような行動をとればよいか、友達や家族と話し合ってください。

### 地震体験動画



▣ 教室編



▣ 校庭編



▣ 外出編



▣ 通学編



▣ 室内編



## 1. 「360度地震体験動画」の内容

「防災ノート」において「地震が起こったら」を考える場面に対応した「教室編」「校庭編」「外出編」「通学編」「室内編」の5本の動画があります。

## 2. 「360度地震体験動画」の構成

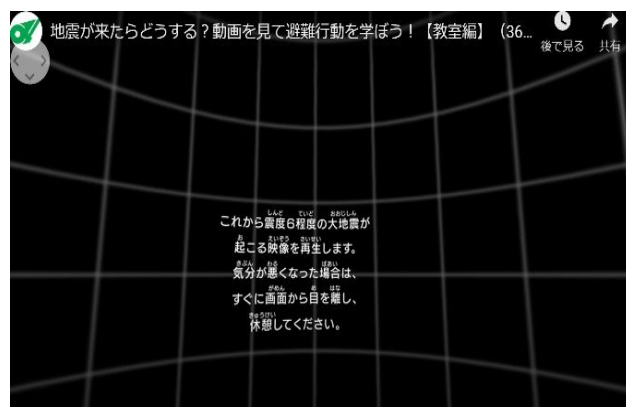
動画を再生すると、タイトルが表示されます。



360度動画で再生されること、タブレットを動かすとその方向の状況を見ることができることを紹介します。



大地震が起こる状況を再現した内容であること、気分が悪くなったらすぐに画面から目を離して休憩することを説明します。

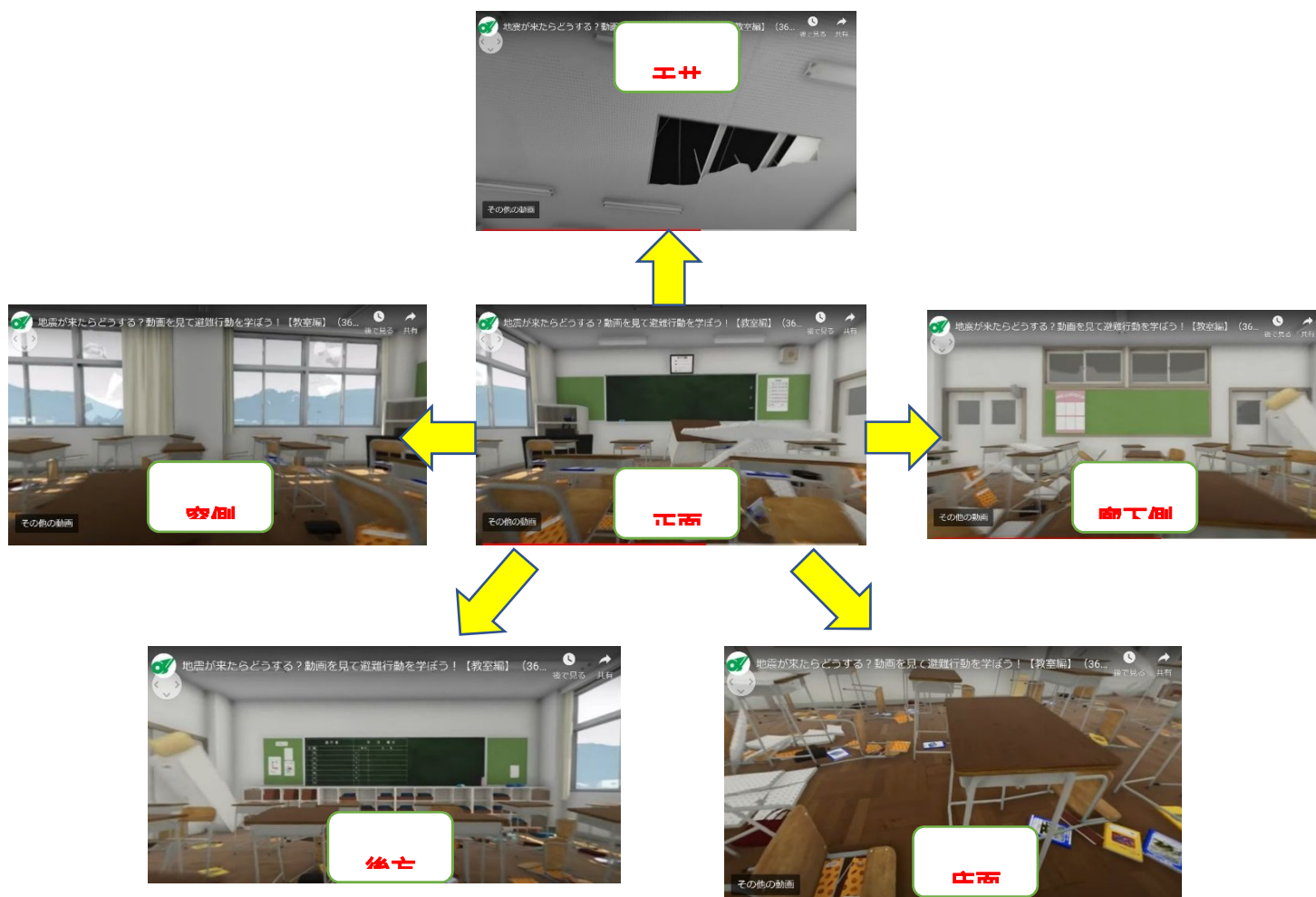


警報音とともに、10秒後に地震が発生することを予告します。



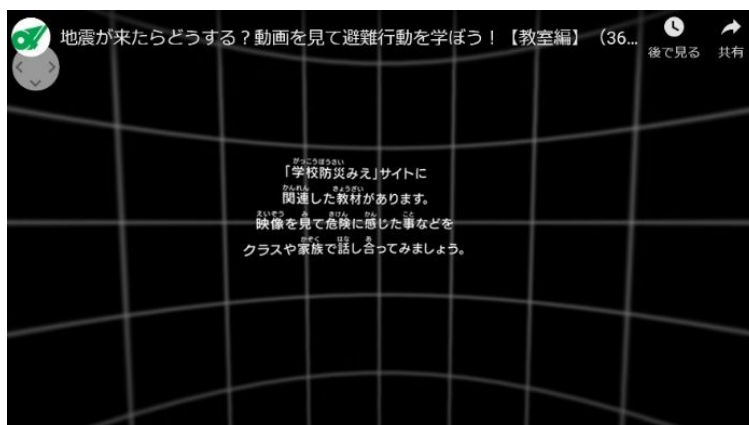
大地震が発生した状況が再現されます。

画面を動かすことで、動かした方向の状況を見ることができます。



地震の揺れが収まった後、引き続き10秒程度再生します。周りの様子を確認し、危険だと思った場所をスクリーンショットなどして活用してください。

「学校防災みえ」サイトに、動画を見て危険と思ったことなどを整理する教材があることなどを説明します。

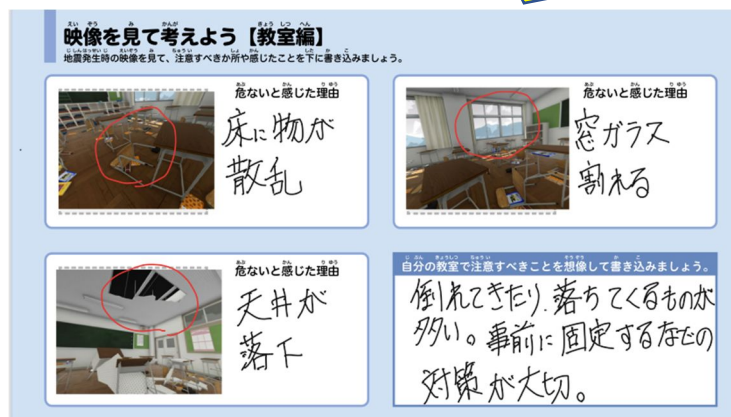
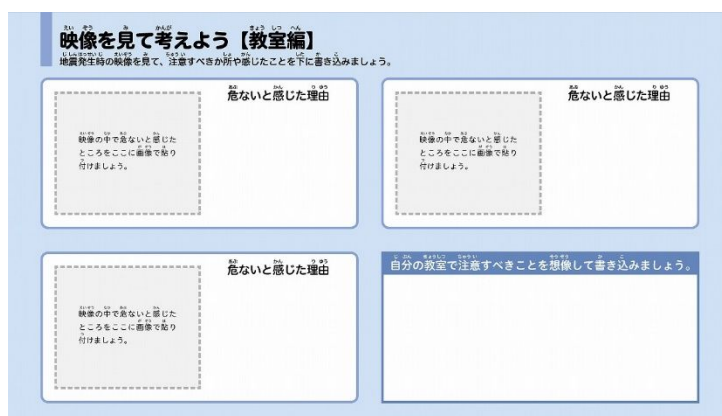


### 3. 「360度地震体験動画」と連携した教材

1人1台学習端末を活用して、動画を見て危険だと感じた箇所をスクリーンショットした写真を貼り、危険と感じた理由を整理する教材を、ポータルサイト「学校防災みえ」に掲載しています。1人1台端末にインストールされている学習支援アプリ等と連携して、活用してください。

#### 【教材活用例】

動画場面別、年代別に映像を見て考える教材を「学校防災みえ」に掲載しています。



動画を見て危険と感じた場所をスクリーンショットし、学習支援アプリを活用して、教材に写真を貼り付けて、考えたことを整理していきます。

## 4. 地震体験動画を活用した防災授業の進め方の例

### 地震体験動画を活用した防災授業の進め方案

【学習のねらい】 360度の大地震再現映像を活用し

- ・児童が地震を身近な出来事であると認識する。
- ・自分が地震にあったらどのような状況になるか、どのような行動をする必要があるかを考えさせる。

#### ■ 360度映像を見せる（冒頭で一時停止）

教員より大型モニターやプロジェクターなどに映し、クラス全員で状況を共有する。

映像冒頭の10秒は大地震が起きる前の状況。

映像を一時停止して周囲を見回し、どのような状況に置かれているのかを理解させる。



#### ■ 考えさせる（各3分程度）

上記のような状況で自分が地震に遭遇したら、どんな危険なことが起こるか自分はどんな行動をするかを考える。

※360度映像は「教室編」「校庭編」「通学編」「室内編」「外出編」の5本。  
気分が悪くなった児童には無理に視聴を続けさせない。

#### ■ 360度映像の続きを再生（各2分程度）

1人一台端末で映像を再生。各シーンで大地震が発生。この状況は他人事ではなく、自分にも起こることだと理解させる。



#### ■ 発見した危険個所の保存（10分程度）

各自の端末で360度動画の中の危険だと思われる個所をスクリーンショットで保存させる。

自分がケガをしないためにどのような行動をすればよいかを考える。

#### ■ グループワーク（15分程度）

保存した画像をグループ内で共有し各自どのように危険だと感じたのかを発表させる。（ロイロノートや同等のアプリを活用し共有）

個人で考えるとともに、考えたことをグループで共有することで個人では気づけなかった視点を取り入れる。



なるべく多くの可能性を検討し、危険性を減らす意識を持たせる

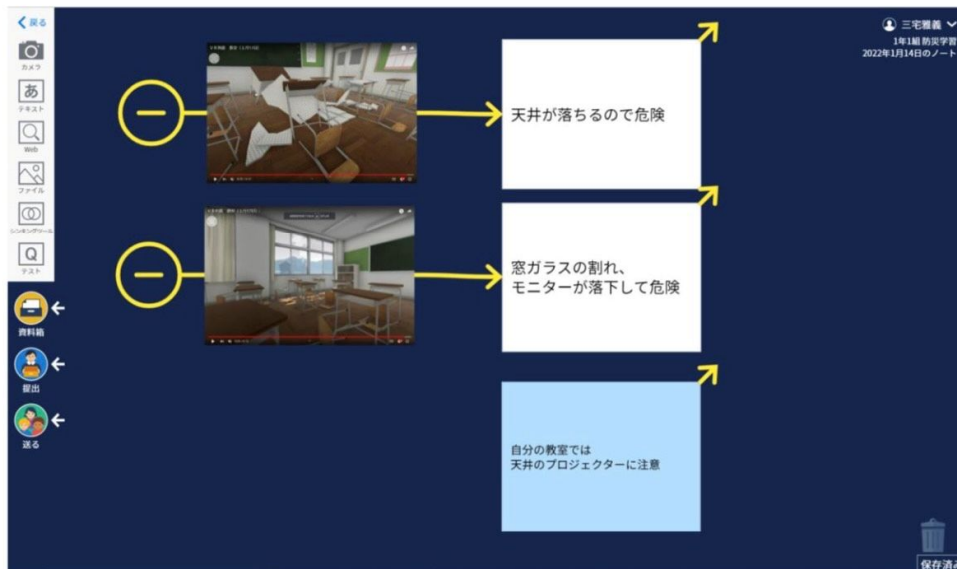
# 地震体験動画を活用した防災授業の進め方

【学習のねらい】 360度の大地震再現映像を活用し

- ・児童が地震を身近な出来事であると認識する。
- ・自分が地震にあったらどのような状況になるかどのような行動をする必要があるかを考えさせる。

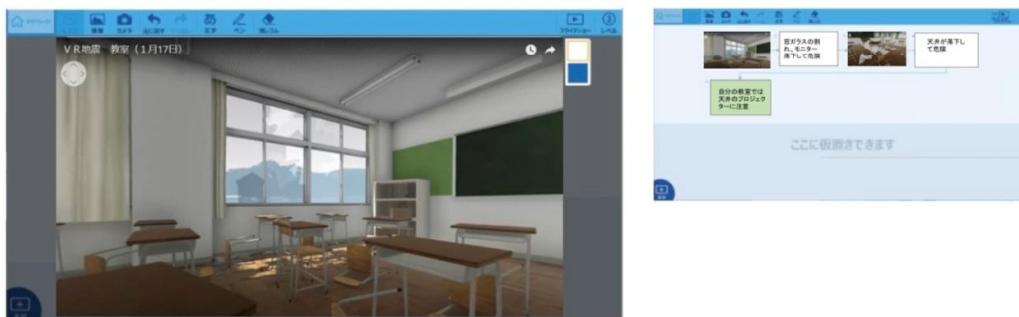
## 【例】ロイロノート利用の場合

危険だと思った箇所のスクリーンショットに対してどのように危険だと感じたのかを記載させ紐づける。最後に自分の環境での注意点にも意識を広げさせる。



## 【例】スカイメニュー利用の場合

シンプルプレゼン機能などを利用し危険だと思った箇所のスクリーンショットに対してどのように危険だと感じたのかを記載させ紐づける。最後に自分の環境での注意点にも意識を広げさせる。



## 【例】グーグルクラスルーム利用の場合

「学校防災みえ」サイトより教材をダウンロードし課題を作成、児童生徒に配布する。

「学校防災みえ」サイトから「映像を見て考えよう」の教材をダウンロードし、必要に応じてアプリ内に貼り付けるか、プリントしてご利用ください。

## 動画の場面別の指導例

### ■ 360度映像の指導例

#### ■ 教室編

被害内容	子どもに書いてほしいこと	怪我等をしないためにすること	事前にできること
教卓が倒れる	教卓が倒れてきて危ない	机の下への避難	器具などで固定
額縁の落下	額縁が落ちてきてあたりそう	ネジなどでの固定 落下する額縁などはなくす	ネジなどでの固定
机・椅子が倒れる	机が倒れるとは思わなかった 机が倒れてきて危ない	避難時に手で押さえる 自分の机は下に入ってしっかり固定する	
モニターが落下する	重いので落下すると危険	器具などで固定 机の下に避難し頭などをまもる	器具などで固定
時計の落下	時計が落ちてきてあたりそう	ネジなどでの固定 机の下に避難し頭などをまもる	ネジなどでの固定
天井の落下	天井が落ちるとは思わなかった	机の下への避難	
ロッカーの転倒	大きいので危ない。出口がふさがれる	器具などで固定 机の下に避難し頭などをまもる	器具などで固定
ロッカー上の荷物の落下	高い場所に荷物を置くと危ない	荷物を乗せない 机の下に避難し頭などをまもる	荷物を乗せない
棚上の水槽落下	水槽のガラスが割れて危ない	器具などで固定	器具などで固定・滑り止めシート
棚上の水筒落下	水筒が落ちてきてあたりそう 踏むと危ない	滑り止めシート、水筒にカバー	滑り止めシート、水筒にカバー
棚上のファイル落下	棚の上のものは落ちるのでなるべく乗せない	棚の上に物を置かない 机の下に避難し頭などをまもる	
棚中の荷物落下	棚中の荷物が落ちるので固定できないか	棚に蓋をつける。棚の奥に置く 机の下に避難し頭などをまもる	
窓の破損	窓が割れるとは思わなかった、踏むと危ない	机の下への避難	保護シート貼り付け

ポータルサイト「学校防災みえ」の教職員用ページには、360度地震体験動画の場面別に、児童生徒に指導するポイントなどを紹介しています。

#### 【学校防災みえ】

<http://www.mie-c.ed.jp/gakkobosaimie/>



## 5 .「360度地震体験動画」のURL

教室編 <https://youtu.be/2ZDpaNI1sXo>



校庭編 <https://youtu.be/NCUUgibIADM>



外出編 <https://youtu.be/zpjMtjvWpfs>



通学編 <https://youtu.be/OTrePEaGz3E>



室内編 <https://youtu.be/Y2H4qFzI0sE>





## 6. 「360度地震体験動画」再生にあたっての留意事項

360度地震体験動画は、「三重県インターネット放送局」のサイトに掲載していますが、再生はYouTubeの機能を利用しているため、YouTubeの視聴制限をしている端末では再生不可となりますので、動画のURLについて視聴解除の手続きをお願いします。

Ipadなどosがiosの端末で360度動画を再生した場合、タブレットを動かして画面を動かすには、端末にYouTubeアプリをダウンロードする必要があります（令和4年3月現在）。

児童生徒の端末にYouTubeアプリがダウンロードされていない場合は、教員用などのダウンロードされている端末を大型モニターなどに映すなどして活用してください。

ポータルサイト「学校防災みえ」のサムネイル画像から360度動画を再生した際、タブレットを動かして画面が動かない場合があります。その場合、下記画面のとおり、「〇〇編」の文字をクリックすると、YouTubeアプリでの再生となり、画面が動くようになります。

